
人が食べるものをつくるということ

私たちは真剣に考えています

会社概要



商号	農業生産法人有限会社 四位農園	代表者	代表取締役社長 四位 廣文
設立	1978年	資本金	50,100,000円
創業	1965年	従業員数	135名
所在地	本社：〒886-0213 宮崎県小林市野尻町三ヶ野山3028番地 高原工場：〒889-4411 宮崎県西諸県郡高原町大字広原4881番地17 宮崎フリーウェイ工業団地内 碾茶工場: 〒886-0212 宮崎県小林市野尻町東麓中尾2819-8	取得認証	JAS有機認証取得 ISO22000 認証取得 GLOBALGAP取得

人が食べるものを作ること 私たちは真剣に考えています

企業理念

私たちは誠実に考え、誠実に行動し、人々の幸せに貢献する。

経営理念

私たち四位農園は、

- ① 野菜の生産をとおして、世界に食の尊さを伝える。
- ② 全従業員とその家族に愛される会社になる。
- ③ お客様に安心と安全、そして満足を提供する。
- ④ 健全な経営を持続し、地域社会の発展に貢献する。
- ⑤ 現状に満足しない 少しずつでも確実に進歩を重ねる。

事業内容



・栽培

加工用野菜として7品目を露地栽培

栽培面積は約300ha

茶に関しては有機栽培を実施

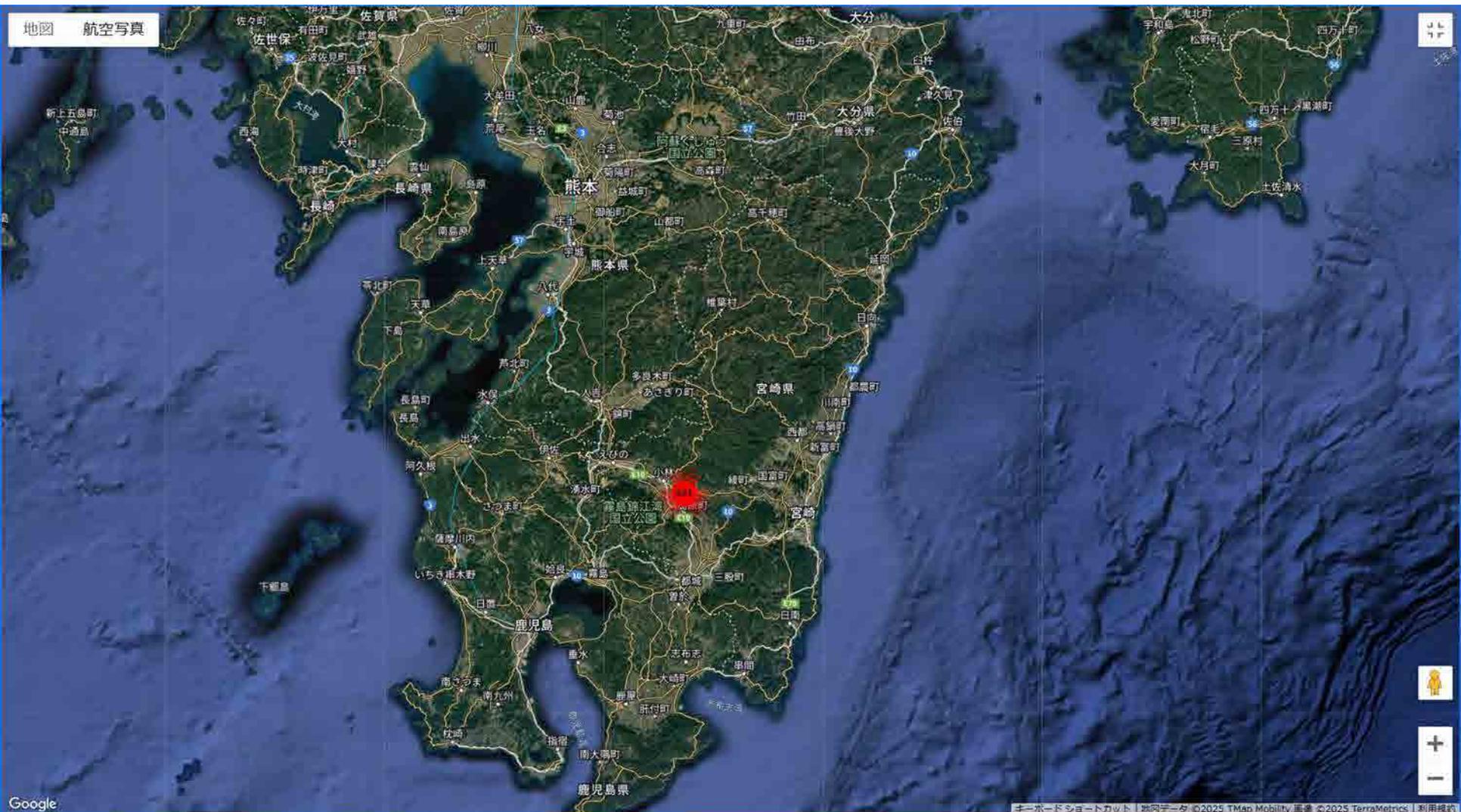
・加工

野菜の冷凍加工を2工場にて実施

加工規格はBQFとIQF

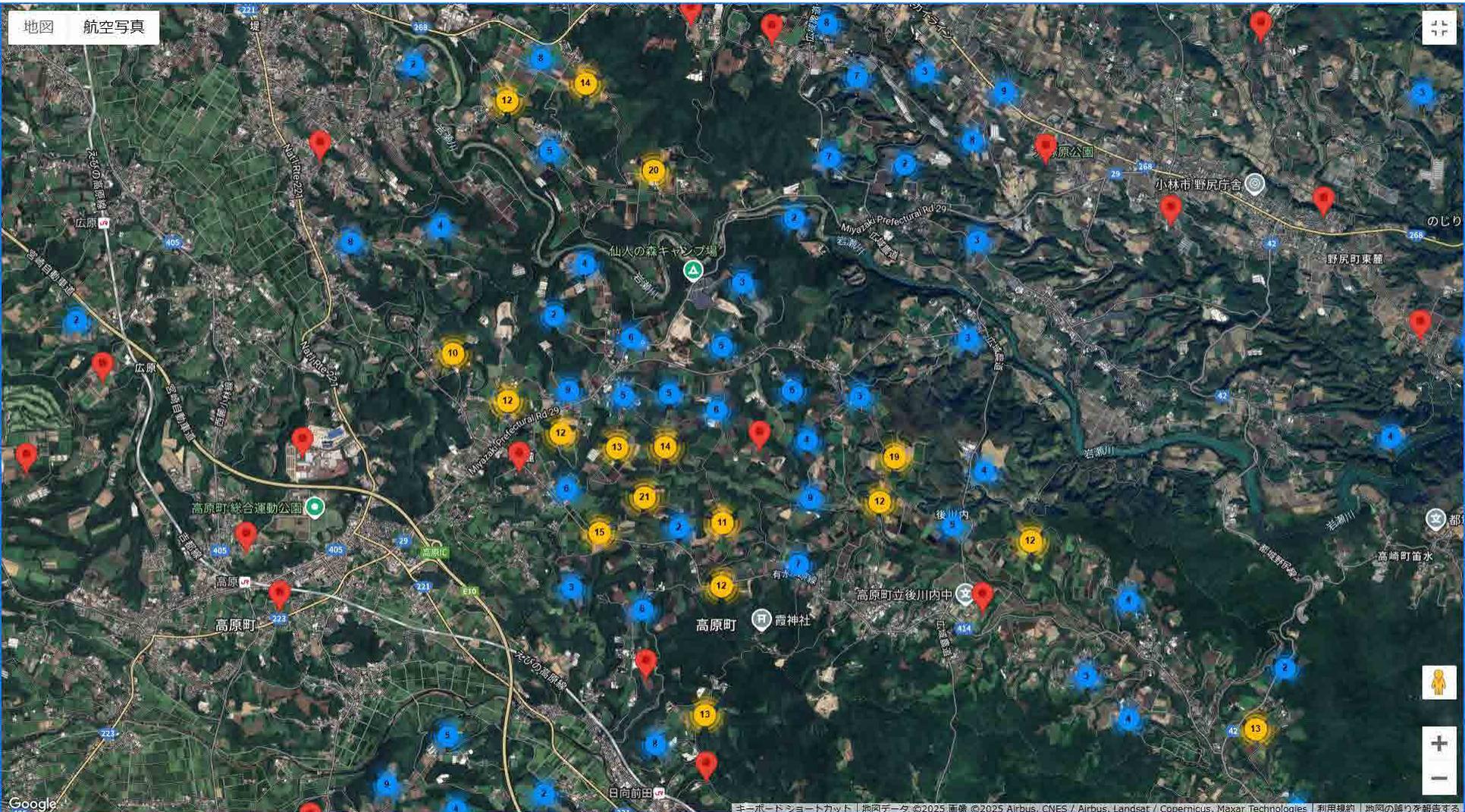
販売先は冷凍食品メーカー、量販店、学校給食その他

事業内容 圃場地図

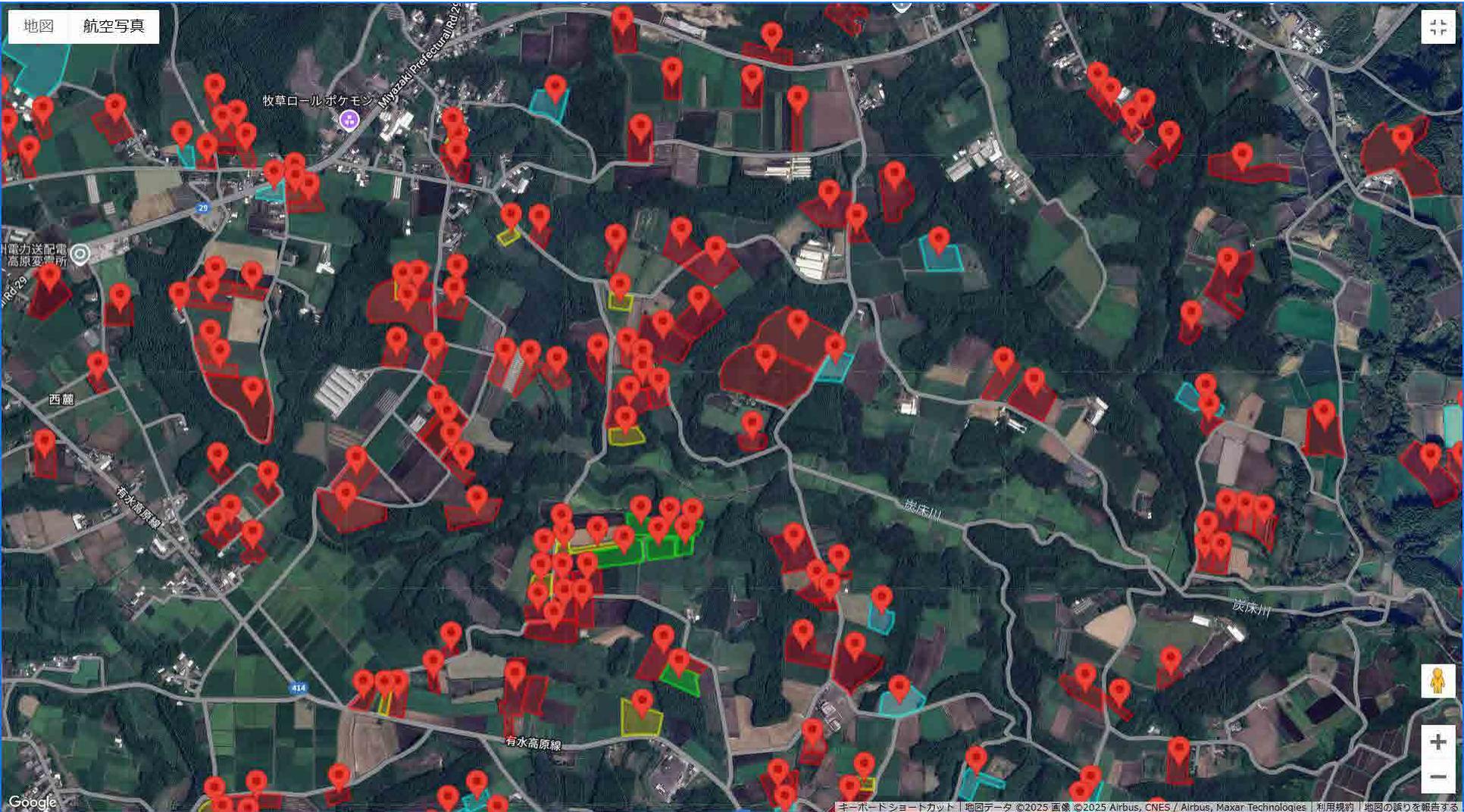


地図 航空写真

事業内容 圃場地図



事業内容 圃場地図



事業内容 冷凍加工場



野尻工場

生産能力 BQF 12t/日
IQF 4t/日



高原工場

生産能力 IQF 25t/日



事業内容 栽培品目

南九州に最適な野菜と時期



ほうれん草

1-4 11-12月



小松菜

4-6 10-12月



枝豆

6-7 9-10月



ゴボウ

4-9月



ブロッコリー

4-5 11-12月



さといも

8-12月



ケール

12-1月



からし菜

4-6 10-12月

増産への取り組み 収穫

栽培技術

50年以上の栽培実績

約20年前の作業風景

ほうれん草の収穫



ごぼうの収穫



さといもの収穫



増産への取り組み 収穫 機械化

栽培技術

50年以上の栽培実績

現在の作業風景

ほうれんそうの収穫



ごぼうの収穫



さといもの収穫



増産への取り組み 収穫 作業効率

栽培技術



手収穫

収穫量 250kg/人/日

ほうれん草の収穫

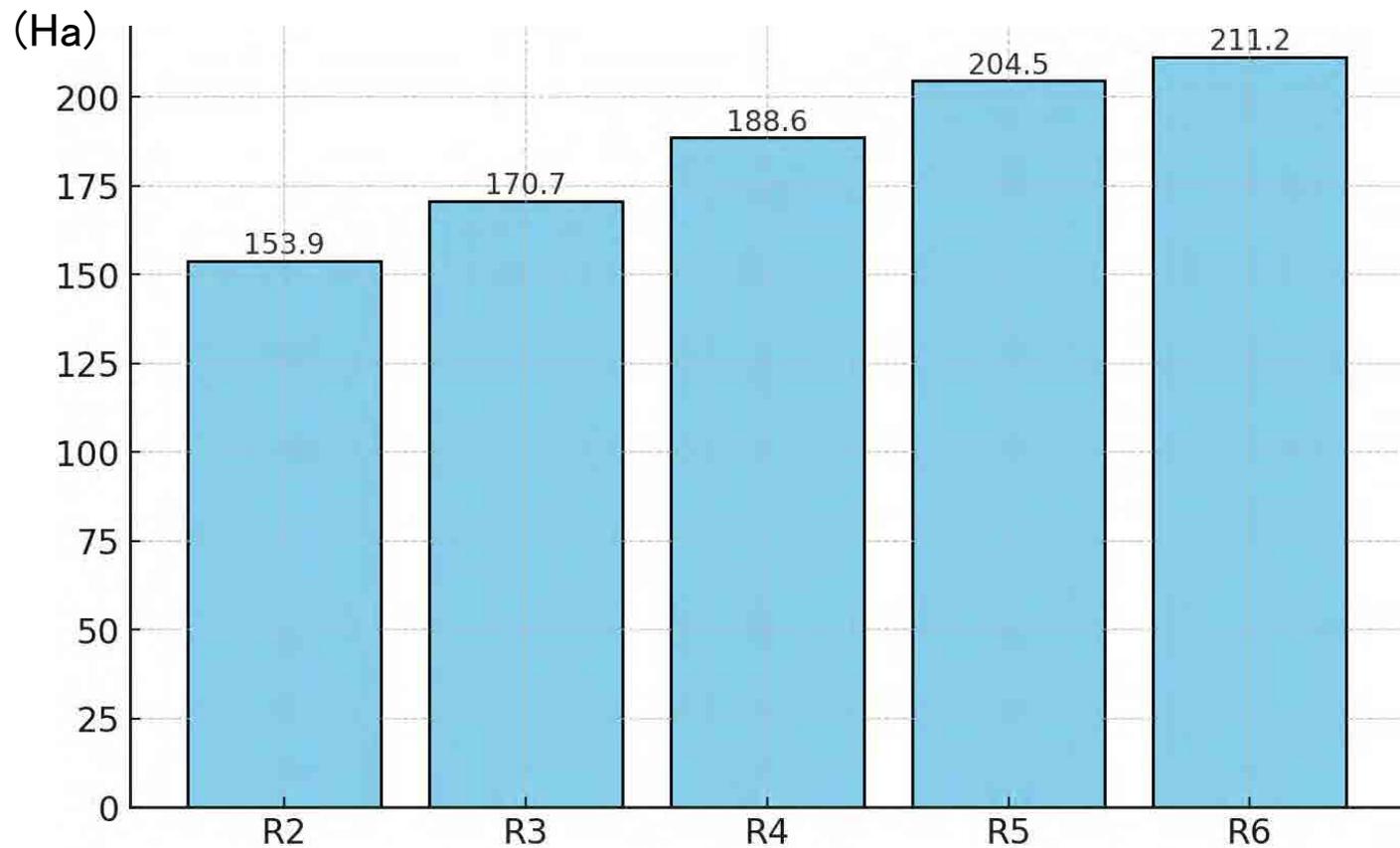


機械収穫

収穫量 7,200kg/人/日

増産への取り組み 栽培面積

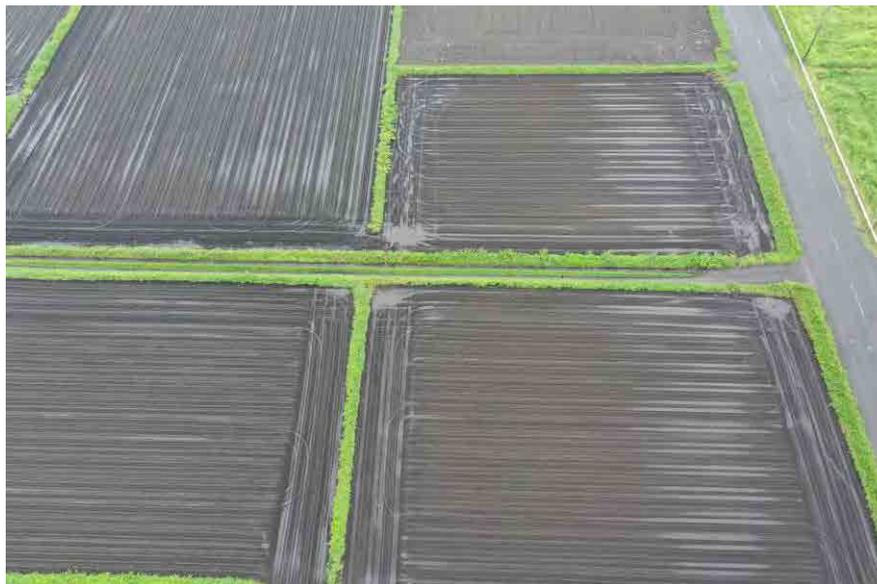
借地面積の推移



安定供給への取り組み 圃場管理

降雨後の圃場状況

継続的な栽培により、圃場に凹凸や硬度の偏りが発生し、排水の悪い場所が増加



均平作業

湿害、干ばつ対策として、レーザーレベラーを活用した圃場の均平化に取り組む



安定供給への取り組み 圃場管理

緑肥の活用

土壌の肥沃化と物理性の
向上



安定供給への取り組み 労働環境改善

パレタイザーの活用

作業者の負担の大きい作業を機械化
労働負担を減らし、作業者の定着を図る。



